

大阪・関西万博九州7県合同催事出展計画

基本計画書

2025.03.04

大阪・関西万博九州7県
合同催事実行委員会

全体概要	02
出展概要	03
来場者目標設定	04
展示計画	05
全体パース	07
全体平面図	08
出展計画	09
1. 7県合同観光PRブース	09
2. 各県個別ブース	10
3. 7県合同食PRブース	18
4. 7県合同イベントスペース	21
運営計画	23
出展期間工程表	24
スタッフ配置計画	25
動線・安全確保計画	26
安全確保レギュレーション(仮)	27
電源使用計画(案)	28
清掃計画(案)	29
搬出入計画	30
広報計画	32

九州7県合同催事出展概要

全体コンセプト

九州の宝を世界へ -Treasure Island・KYUSHU-

九州が世界に誇る「観光資源」「食」「歴史・文化」「自然」等の魅力を最大限に打ち出した企画展示や、試飲・飲食、ステージイベント等を通じて、国内外からの来場者に魅力的な体験を提供。

出展期間	令和7年9月3日(水)から9月5日(金) ※施工日9月2日(火)／撤去日9月6日(土)
出展会場	EXPOメッセ 2000㎡ ※九州7県により、2000㎡全面を使用
出展内容	1. 7県合同観光PRブース 2. 各県個別ブース 3. 7県合同食PRブース 4. 7県合同イベントスペース

大阪・関西万博開催概要



名称	2025年日本国際博覧会／(略称「大阪・関西万博」)
開催期間	令和7年4月13日(日)～10月13日(月)184日間
開催場所	夢洲(大阪府大阪市臨海部)
来場者数	約2,820万人想定
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”
コンセプト	People’s Living Lab(未来社会の実験場)

出 展 の 目 的

「九州の宝を世界へ ～Treasure Island・KYUSHU～」の全体コンセプトのもと、
「九州及び九州7 県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)」の魅力を一体的かつ戦略的にプロモーションすることにより、
国内外への情報発信はもとより、観光、物産等の需要取り込みや交流人口の増加を狙いとする。

九州7県合同出展 テーマロゴ

■ K.100 ■ K.50 ■ C.55 M.5 Y.85
■ R.0 G.0 B.0 ■ R.160 G.160 B.160 ■ R.124 G.184 B.82



タ ー ゲ ッ ト 設 定

国内来場者は約9割、海外は約1割と想定され、国内来場者の6割は近畿圏居住者。
但し、近年ではインバウンドが増加していることから
近畿圏居住者+海外来場者をメインターゲットと設定する。

開催期間目標来場者数

3日間述べ/目標来場者数



約 34,200 名

想定来場者数は、EXPOメッセの収容人数約1,500人から展示物設置によって収容人数が減る事を鑑み、8掛け計算。

開催時間内来場者数/1日

11,400 名

1日の営業時間を10時間想定。
※最初の1時間を600名とする

EXPOメッセ
1時間あたりの
滞在者数

1,200 名

展示物設置によって収容人数が
減る事を鑑み、8掛け計算。

3日間述べ34,200名を大阪関西万博の来場者シミュレートに則り分類した場合は
以下となります。

インバウンド

4,104 名

全体の約12%

近畿圏

18,960 名

インバウンド来場者数を減算した数の約63%

近畿圏以西

3,612 名

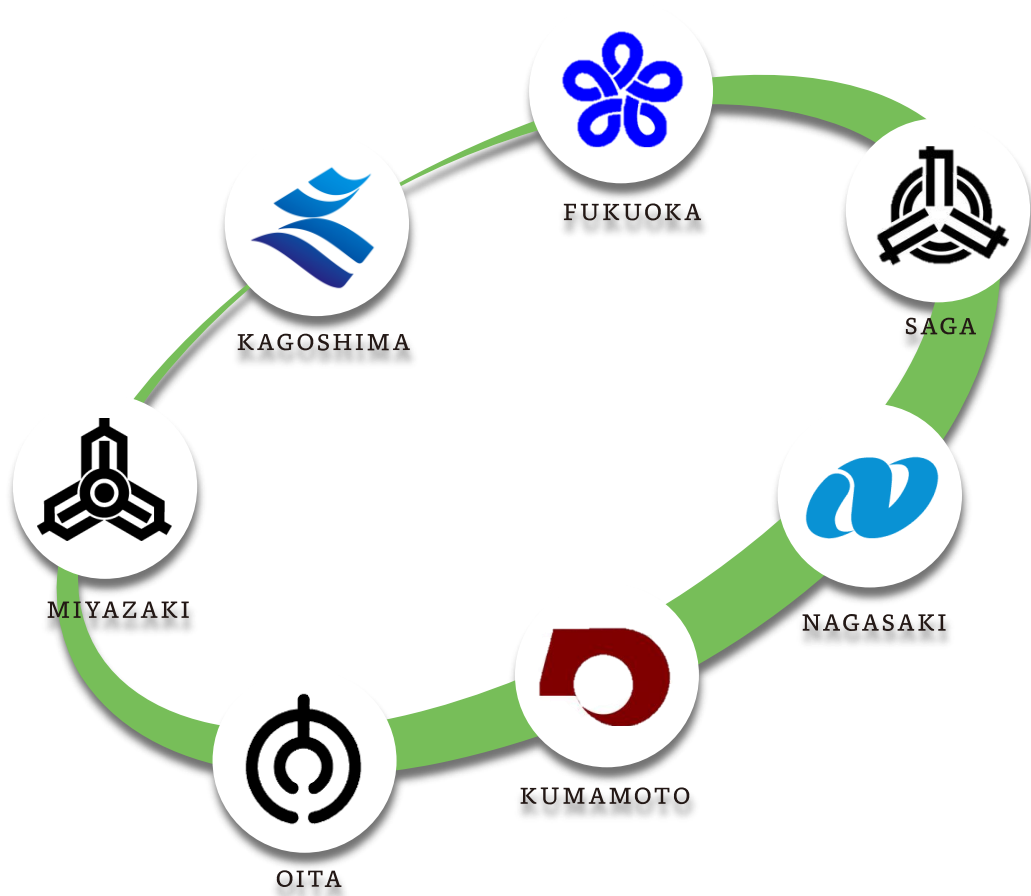
インバウンド来場者数を減算した数の12%

近畿圏以东

7,524 名

インバウンド来場者数を減算した数の約25%

※引用:各数字や画像は大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版から



九州の宝を世界へ ～Treasure Island・KYUSHU～ 展示計画

展示方針

観光・食・自然など、“九州ならではの”を前面に打ち出した構成・演出により、九州のプレゼンスの向上を図る

1

九州の未来を見据えた観点で展開

ブース内での体験を通じ「訪れるべき場所」としての認知を拡大

2

外国人来場者への対応

コミュニケーション能力の高い語学スタッフを配置し海外の方々の目線で運営

3

安全・安心の確保

各関係者と連携した来場者の安全確保

4

環境に配慮した展示会運営

先進技術を活用した環境配慮

万博来場者が実際に九州へ来訪いただく事がGOAL

①万博への来場



②九州への理解、宝・観光資源理解



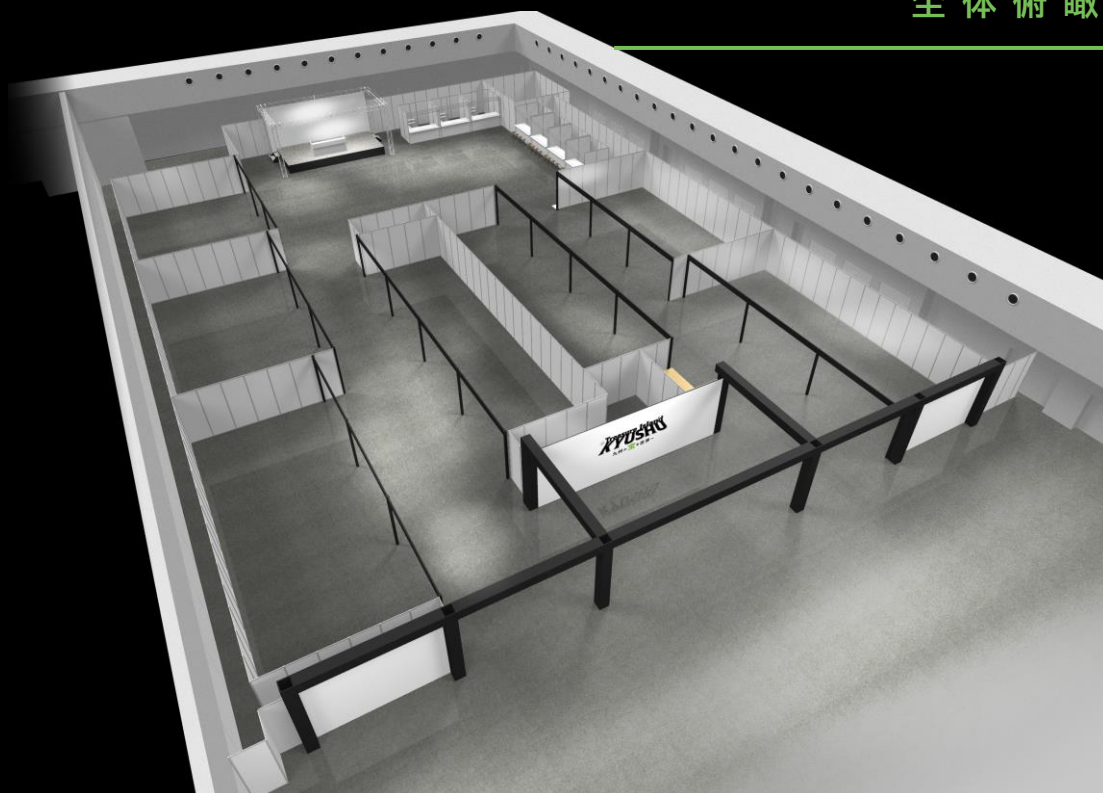
③九州の魅力を体感



④九州への来訪



全体俯瞰パース



各県ブースパース

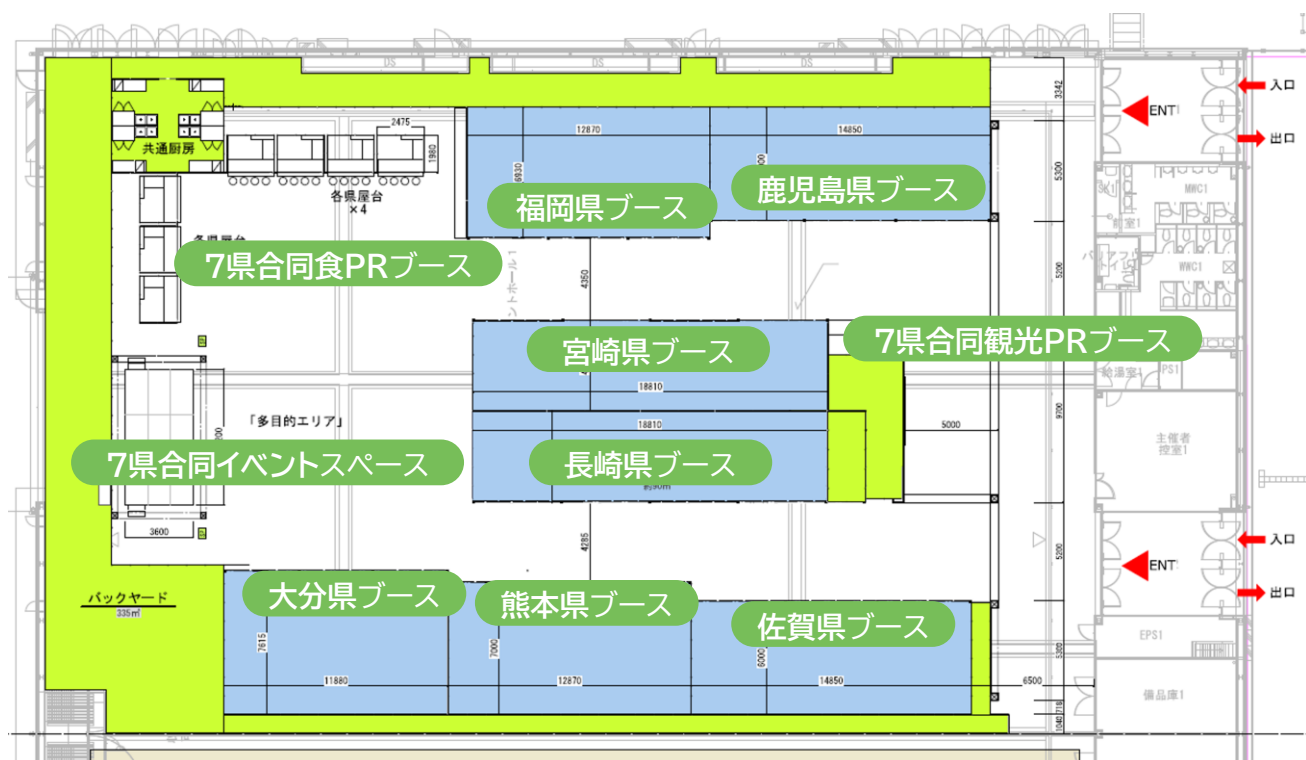


ブース回遊の流れ

- ① ブース正面のゲートから入場
- ② 各県ブースを周遊
- ③ ステージで各県のプログラムを観覧
- ④ 共通飲食・物販ブースでご当地グルメを喫食

全体平面図

※7県合同食PRブースの各県割当、7県合同観光PRブース内容については今後協議・提案のうえ決定



各県個別ブース

九州各県の個別ブース(広さ約90㎡)で各県各々の宝を紹介。

7県合同観光PRブース

九州全体のプロモーションエリアとして想定。

7県合同食PRブース

【共通飲食提供スペース】

九州7県の「グルメ」「酒」の販売、試飲・試食を行うスペースを設置。

【共通厨房】

飲食提供を行うための共通の厨房設備を設置し電力の効率化を図る。

7県合同イベントスペース

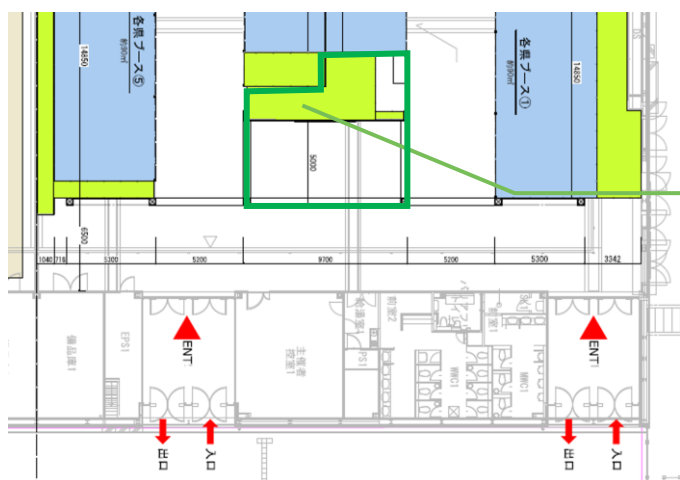
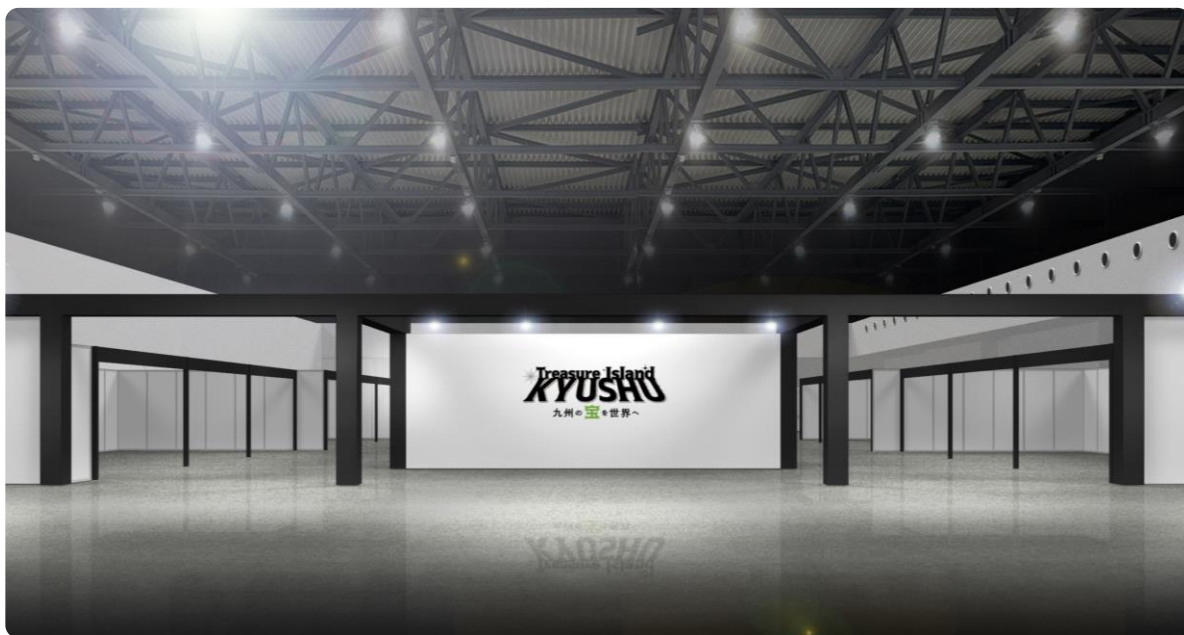
利便性と来場者の回遊性を意識し搬入口に近いエリアにステージを設けて運用。

7県合同観光PRブース

九州7県の魅力を詰め込んだ、7県観光ブースの設置

九州周遊観光の促進を目的として、ブース正面に7県観光ブースエリアを設けます。7県合同観光PRブースには、各県選りすぐりの観光スポットやご当地グルメ、伝統工芸などの九州全域の観光資源をパネルやディスプレイで紹介し、周遊観光への興味喚起を目指し、具体的な旅行プランの推奨など来場者のニーズに合わせたプロモーションを行える場として活用します。

ブースイメージ

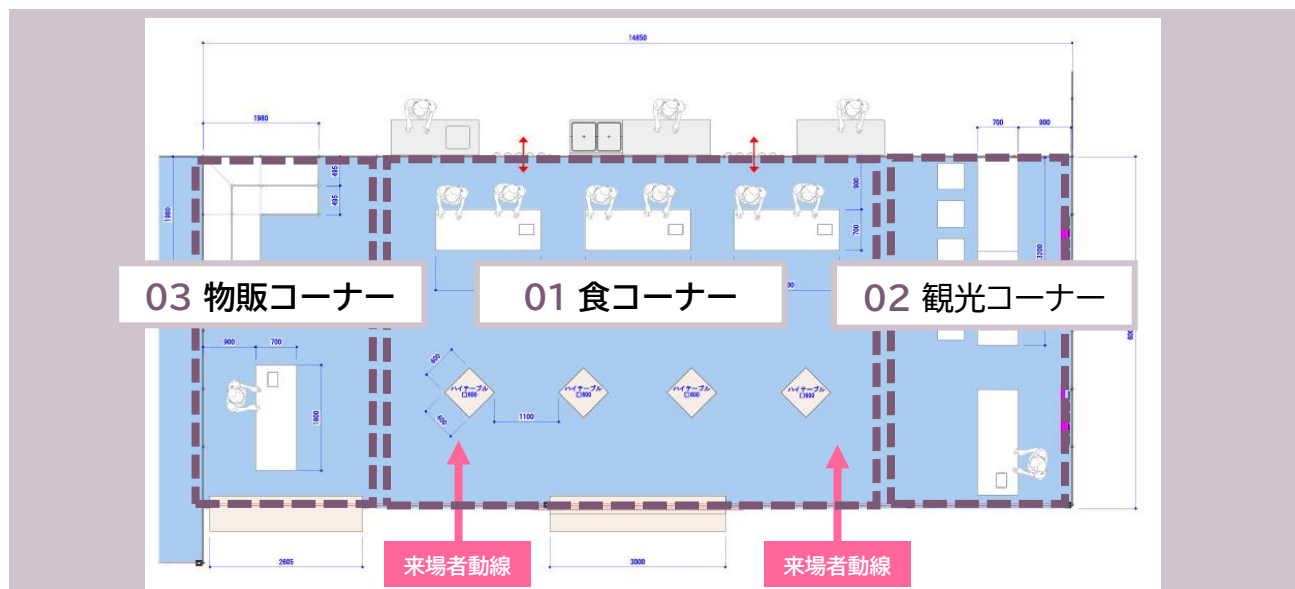


ブース位置

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -福岡県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

「食の王国 福岡」をテーマに、博多和牛・天然マダイ・八女茶等の農林水産物や、県産酒、観光の魅力を発信



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 食コーナー

博多和牛、天然マダイ、とよみつひめなどのワンヘルス認証食材を使った料理、八女茶、県産酒を販売

02 観光コーナー

タブレットや大型モニター、パネル等で、「よかバス」や本県の観光地を紹介地域の魅力に触れる体験プログラムを提供

03 物販コーナー

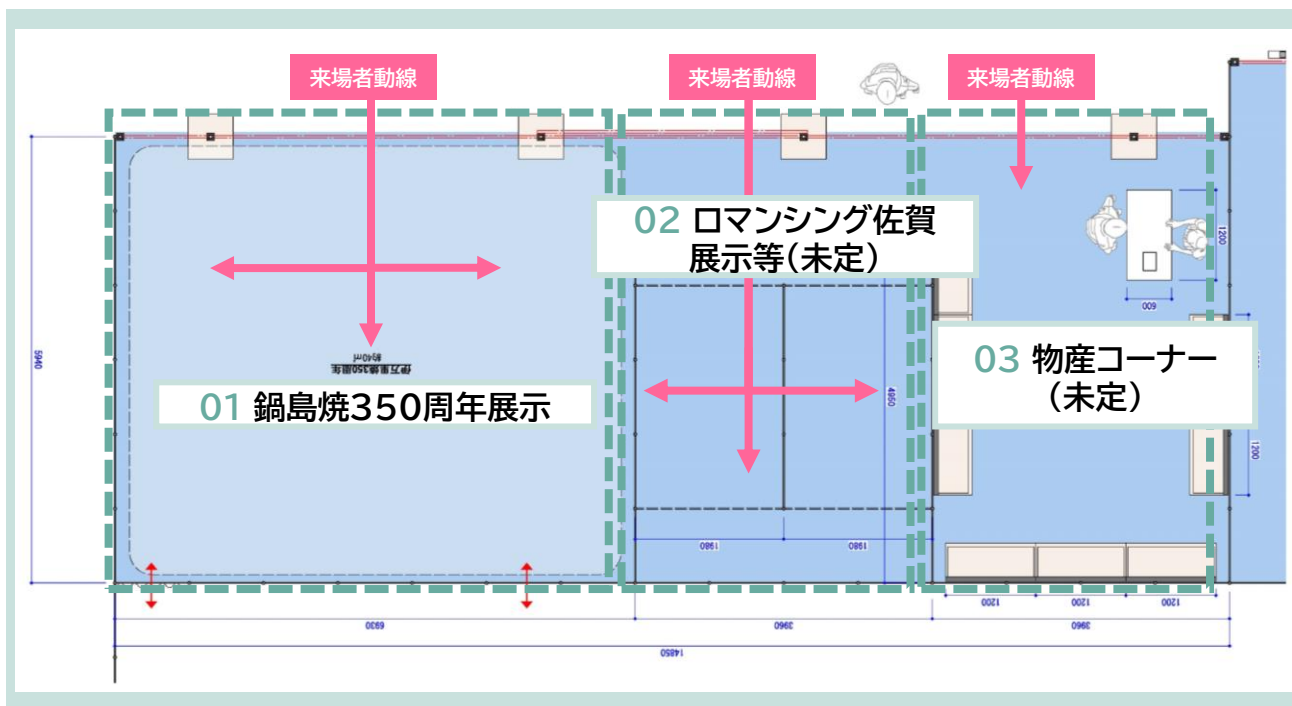
県産農林水産物等の加工品、茶器や皿等の食に関する伝統工芸品の紹介、販売

※装飾物等は博多織、久留米紬等を活用した本県らしく魅力的な装飾を行う。

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -佐賀県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

鍋島焼350周年展示・「ロマンシング佐賀」展示・物産販売等で 佐賀県の宝をPR



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 鍋島焼350周年展示

1675年、今の伊万里市、大川内山に鍋島藩直営の御用窯が開窯。江戸時代、将軍家等に献上するための最高級の焼き物を制作。これまで産地が国内外に献上してきた品々を集め、受け継がれてきた技術をPR。

02 ロマンシング佐賀 展示(未定)

※内容等検討中

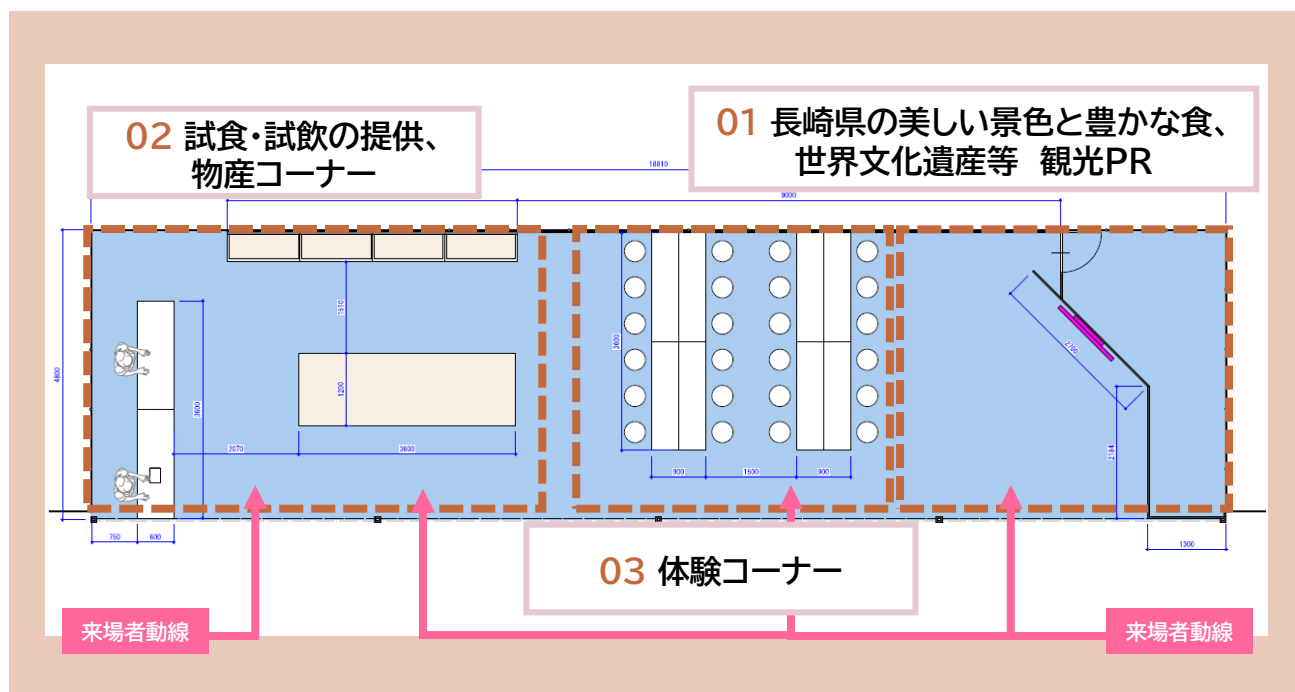
03 物産コーナー(未定)

※内容等検討中

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -長崎県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

異国と交流し、文化を受け入れてきた日本の窓口、長崎の和・華・蘭文化
長崎県の美しい景色と豊かな食、世界文化遺産等、長崎の魅力を紹介



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 長崎県の美しい景色と豊かな食、世界文化遺産等 観光PR

山と海の恵みによる美しい自然と豊かな食、和・華・蘭文化に代表される異国情緒あふれる長崎の魅力、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を大型モニターで紹介

02 試食・試飲の提供、物産コーナー

カステラとそのぎ茶、鉄火巻と県産酒など、長崎の特産品を提供・販売予定

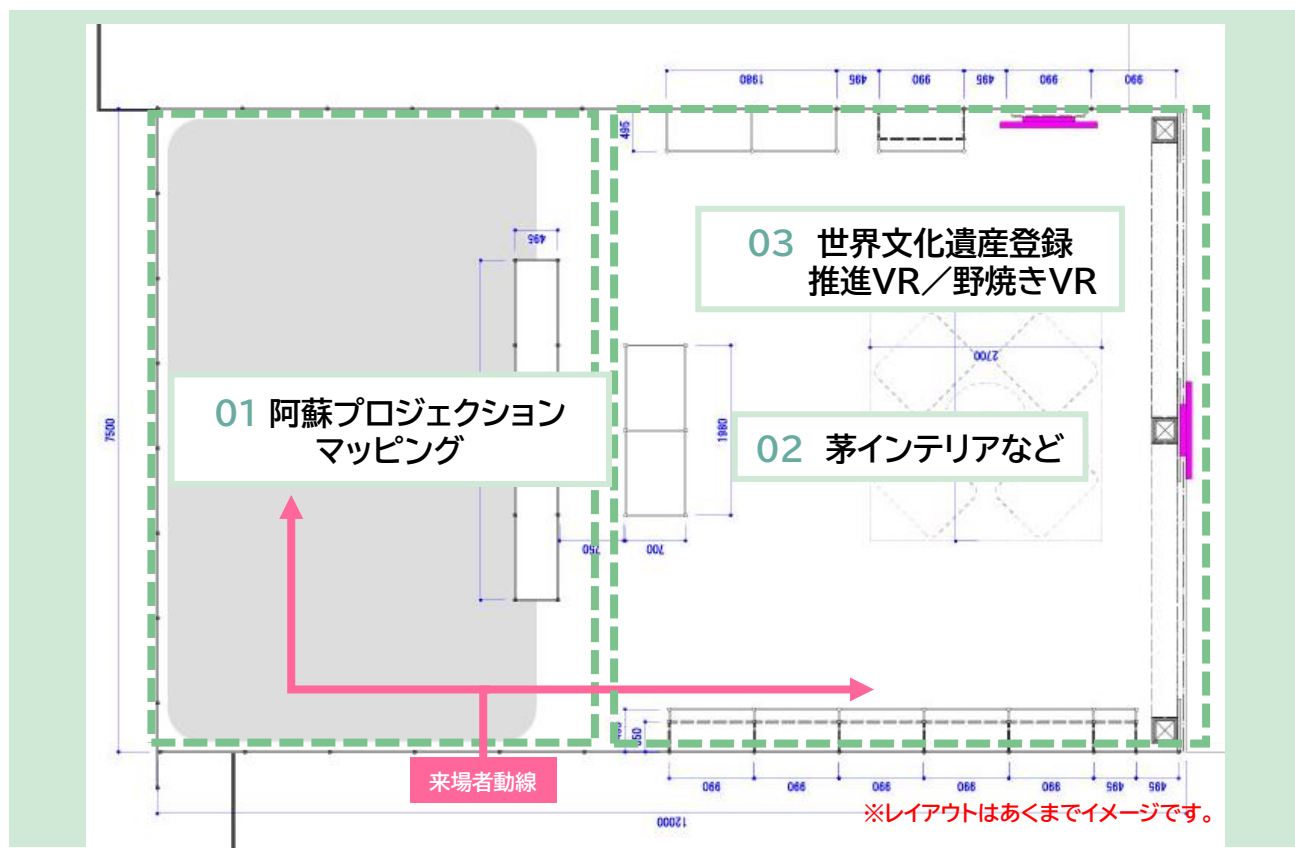
03 体験コーナー

※内容検討中

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -熊本県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

阿蘇草原の再生への取り組みをプロジェクションマッピングにて訴求、
世界文化遺産への挑戦を体感できる展示



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 阿蘇プロジェクションマッピング

世界遺産登録の機運醸成を図る。

→投影方法

天井高、照度、機材については未定。トラス組にプロジェクターをつるして映し出す。モニターから投影スクリーンまでの距離や照度について今後協議を行う。

02 茅インテリア等

阿蘇の茅を使用したインテリアやオブジェ等を展示予定。

03 世界文化遺産登録推進VR/野焼きVR

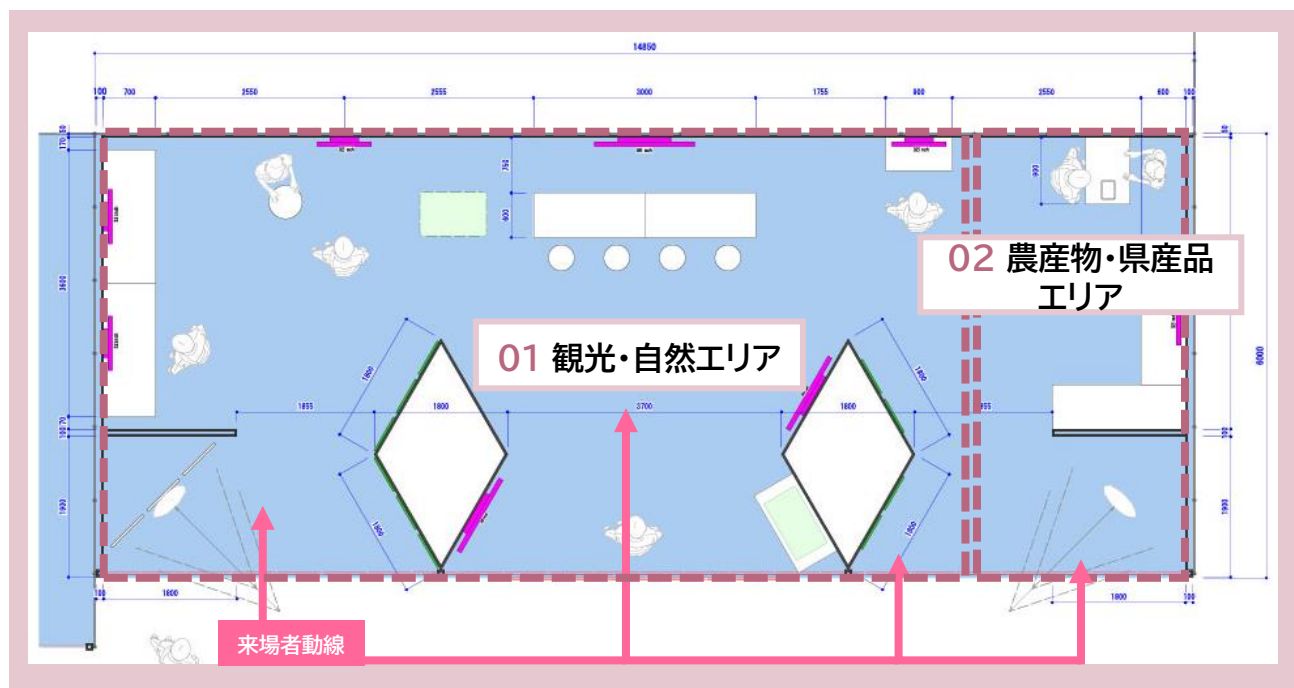
世界文化遺産登録を推進する阿蘇の価値を体感できるVRや野焼き作業などを体感できるVRを展示予定。

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -大分県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

「日本一のおんせん県おおいた」の魅力を世界に発信！

「温泉」・「食」・「自然」・「歴史・文化」を堪能できる唯一無二の魅力を伝える展示



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 観光・自然エリア

- (1)大型スクリーンにて仮想空間(メタバース)による別府の街の再現
- (2)温泉の手湯、蒸気で大分の温泉体験
- (3)MIDNIGHT OITA、全力おもてなしなどの観光動画でPR
- (4)ユネスコエコパーク、ジオパーク、くじゅう連山などの自然景観
- (5)地域資源素材集の展示
- (6)ホーバーのPR
- (7)竹工芸の体験コーナー
- (8)宇佐神宮など観光資源PR
- (9)キャラクターとのフотスポット

02 農産物・県産品エリア

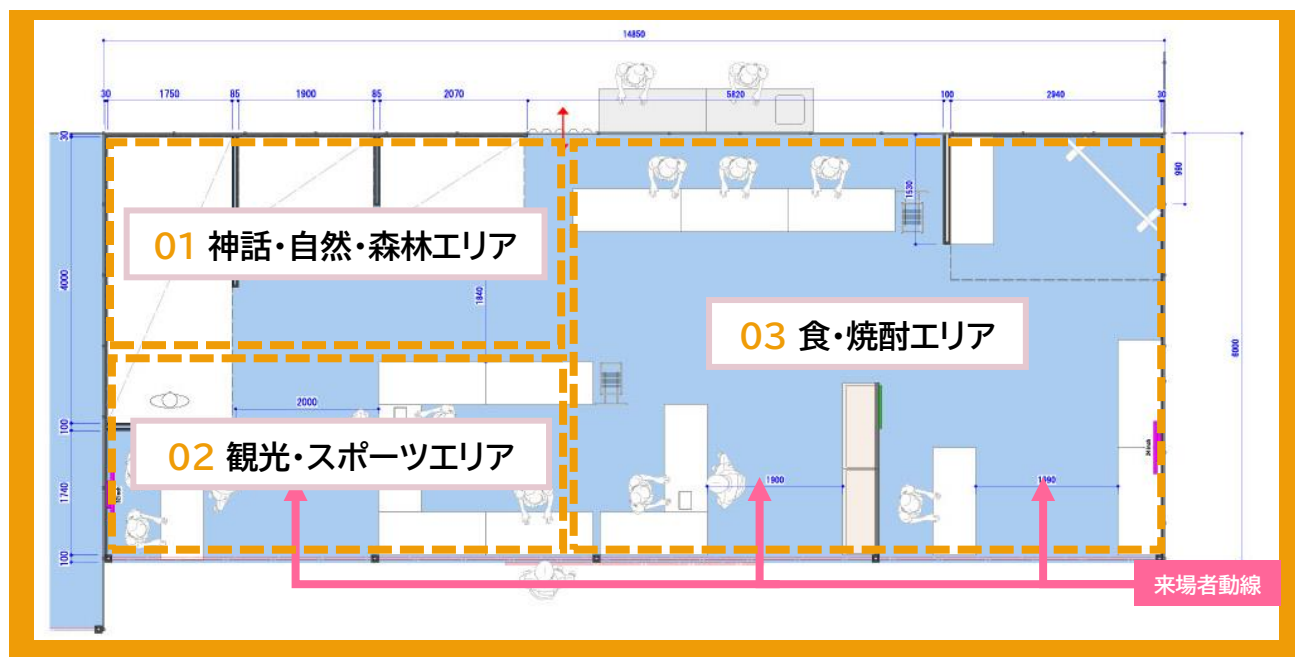
- (1)農産物の展示等
- (2)世界農業遺産のPR
- (3)県産品(物産、酒類等)の試飲、試食、販売

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) - 宮崎県 -

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

「日本のひなた」で育まれた

「食」「スポーツ」「自然」「森林資源」「神話」の魅力を世界に発信！



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 神話・自然・森林エリア

- (1) ユネスコ無形文化遺産登録を目指す神楽のVR体験や舞手衣装体験のほか、イベントスペース(仮)で、神楽団体による舞の披露を実施
- (2) 日本一のスギ生産地から木の香る木製品を販売

02 観光・スポーツエリア

- (1) 宮崎県観光PR動画放映
- (2) 「運玉投げ」、「結びこより」、「七福德寿板木」等の宮崎の観光体験
- (3) 県内観光地のVR動画体験
- (4) 「スポーツの聖地 宮崎」の魅力を発信
- (5) イベントスペース(仮)における、宮崎ゆかりの著名人による宮崎の魅力PRイベント

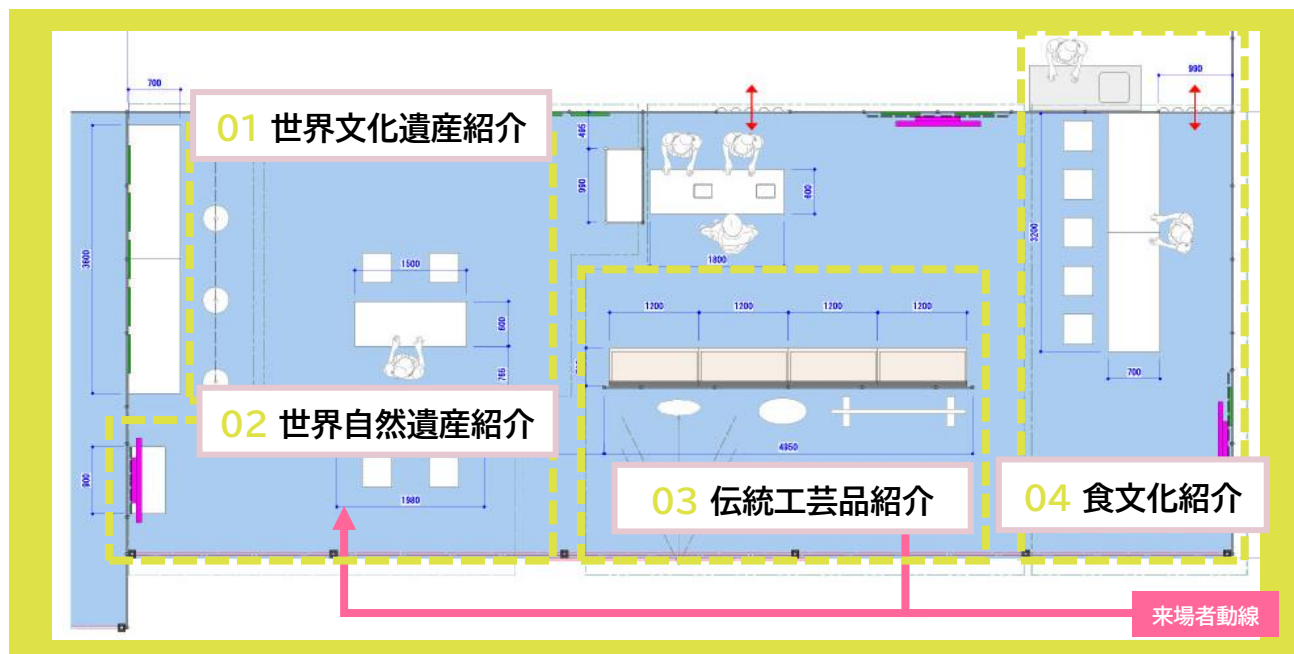
03 食・焼酎エリア

- (1) 「日本のひなた宮崎県」ならではの県産品の試食・販売
- (2) 出荷量10年連続日本一 宮崎の本格焼酎の新たな魅力の発信

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -鹿児島県-

※レイアウト仮。県と協議の上決定。

世界に誇れる鹿児島の食、伝統的工芸品、自然、文化など魅力ある「南の宝箱 鹿児島」をPR



展示内容

※展示内容仮。県からの公示ののち、県と受託者と協議の上決定。

01 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」～日本の近代化は鹿児島から～

02 世界自然遺産の宝物たち

03 鹿児島の伝統的工芸品の紹介

04 「黒」・お茶・だし・発酵食品等「鹿児島の食」の紹介

※詳細は次頁記載

九州7県の魅力紹介(各県個別ブース) -鹿児島県-

世界に誇れる鹿児島の食、伝統的工芸品、自然、文化など魅力ある
「南の宝箱 鹿児島」をPR

展示内容

01 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」～日本の近代化は鹿児島から～

(1) 展示

- ・ パネル展示
「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念パネル等
- ・ デジタルサイネージでの放映 構成資産の空撮映像や反射炉の復元映像
- ・ 電子パンフレット配布 (QRコード掲示による)
- ・ オリジナルノベルティ配布

(2) 体験

- ・ 薩摩切子かけら細工体験ワークショップの実施

02 世界自然遺産の宝物たち

(1) 展示

- ・ 奄美・屋久島世界自然遺産の希少な生き物の展示(数点程度)
アマミノクロウサギ、トゲネズミ、ケナガネズミ、ウミガメの剥製、屋久杉の一部 等

(2) VR体験(奄美市様保有)

- ・ ゴーグル装着により奄美の海・空・夜を体験

03 鹿児島の伝統的工芸品の紹介

(1) 展示

- ・ 伝統的工芸品の紹介(パネル, 実物展示, 動画)・オンラインショップへの誘導

(2) 体験

- ・ 本場大島紬・甲冑試着体験

(3) 販売

- ・ 伝統的工芸品(本場大島紬製品)

04 「黒」・お茶・だし・発酵食品等「鹿児島の食」の紹介

(1) 展示

- ・ 鹿児島の「黒」(黒牛、黒豚、黒さつま鶏等)や、お茶、だし、発酵に関する独自の食文化(本格焼酎, 黒酢等)の紹介(パネル展示・動画)、試食・試飲
- ・ オンラインショップへの誘導

(2) 体験

- ・ 自分で削った鰹節で茶ぶし体験



九州の「食」の魅力紹介 <7県合同食PRブース>

九州の豊かな大地が育む味覚、美食を体感いただく

九州7県が誇る「食」の魅力を存分に味わっていただける試飲・試食や特産品などを個購入することができるコーナーを展開。九州ならではの味覚を直接味わっていただくことで、参加者に旅先としての魅力をより身近に感じていただく。

提供予定品

- ・ 福岡県 : 提供内容協議中
- ・ 佐賀県 : 提供内容協議中
- ・ 長崎県 : 県産食材を使った料理と県産酒を提供予定
- ・ 熊本県 : 熊本の特産品
- ・ 大分県 : 大分のかぼす・しいたけ・おおいた和牛
県産魚・地酒の試飲、試食など
- ・ 宮崎県 : “おいしさ日本一”宮崎牛
- ・ 鹿児島県: 提供内容協議中

※EXPO 2025
デジタルウォレット

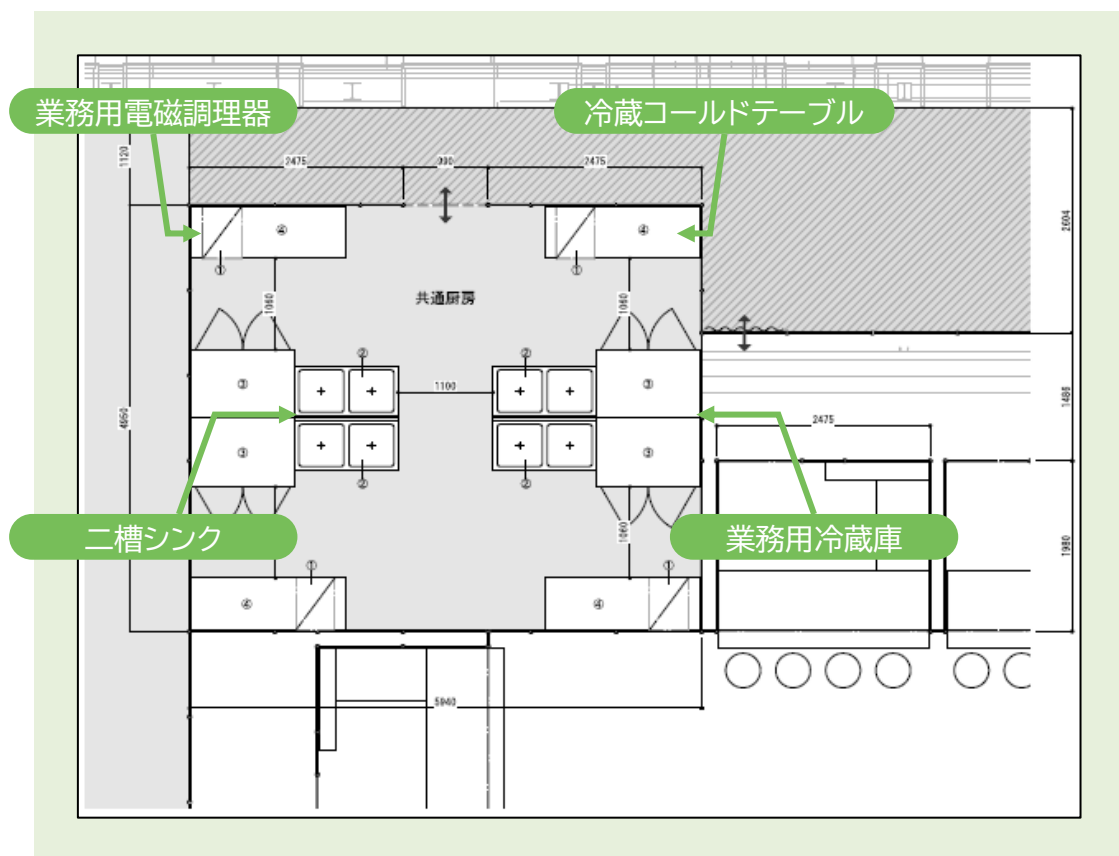
申請・許可について

- ・調理行為が伴う提供については、許可・届出が必要。
- ・ブースまたはキッチンカーで出店する場合は、提供品目に応じた営業許可を取得必須。
- ・提供にあたり電気フライヤーや調理油など危険物を使用する場合は別途消防署への許可が必要。

支払いは
キャッシュレス



共通厨房平面図



厨房設備イメージ

業務用電磁調理器



二槽シンク



業務用冷蔵庫



冷蔵コールドテーブル



※イメージ画像となります。

出展内容＜7県合同食PRブース＞

福岡県

※提供内容協議中

佐賀県

※提供内容協議中

長崎県

長崎県の飲食ブースでは、五島うどん等の県産食材を使った料理と県産酒を提供予定。

熊本県

※提供内容協議中

大分県

大分のかぼす・しいたけ・おおいた和牛・県産魚・地酒を提供。

宮崎県

全国和牛能力共進会で4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛を、鉄板で調理して提供予定。

鹿児島県

※提供内容協議中

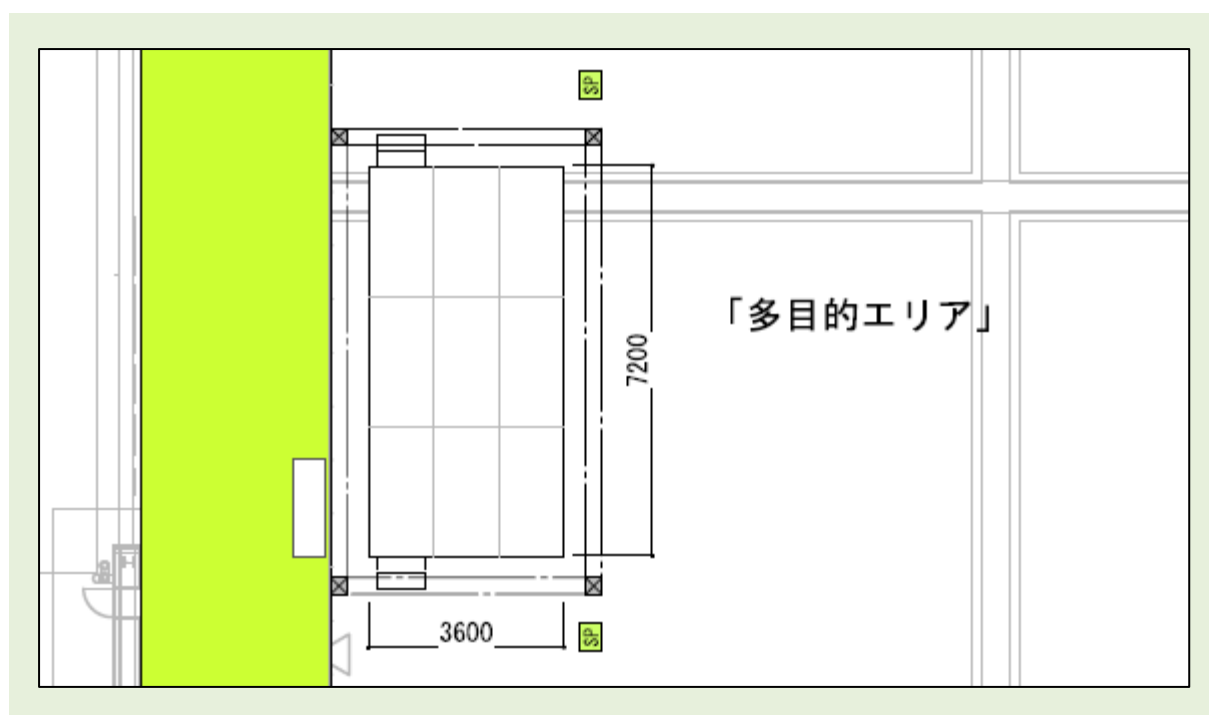
7県合同イベントスペース

特設ステージを設置し、九州7県の魅力を発信

会場内に特設ステージを設置いたします。

特設ステージでは、各県が歴史ある芸能の魅力を伝える演目や、各県のご当地キャラクターによる楽しいひととき、各県のPRタイムなど、多彩なプログラムを通じて九州の魅力を来場者に体感いただきます。

スペース位置



出展内容

※内容については今後検討

出展内容<共通ステージ>



福岡県



佐賀県



長崎県



熊本県

※詳細確認後反映



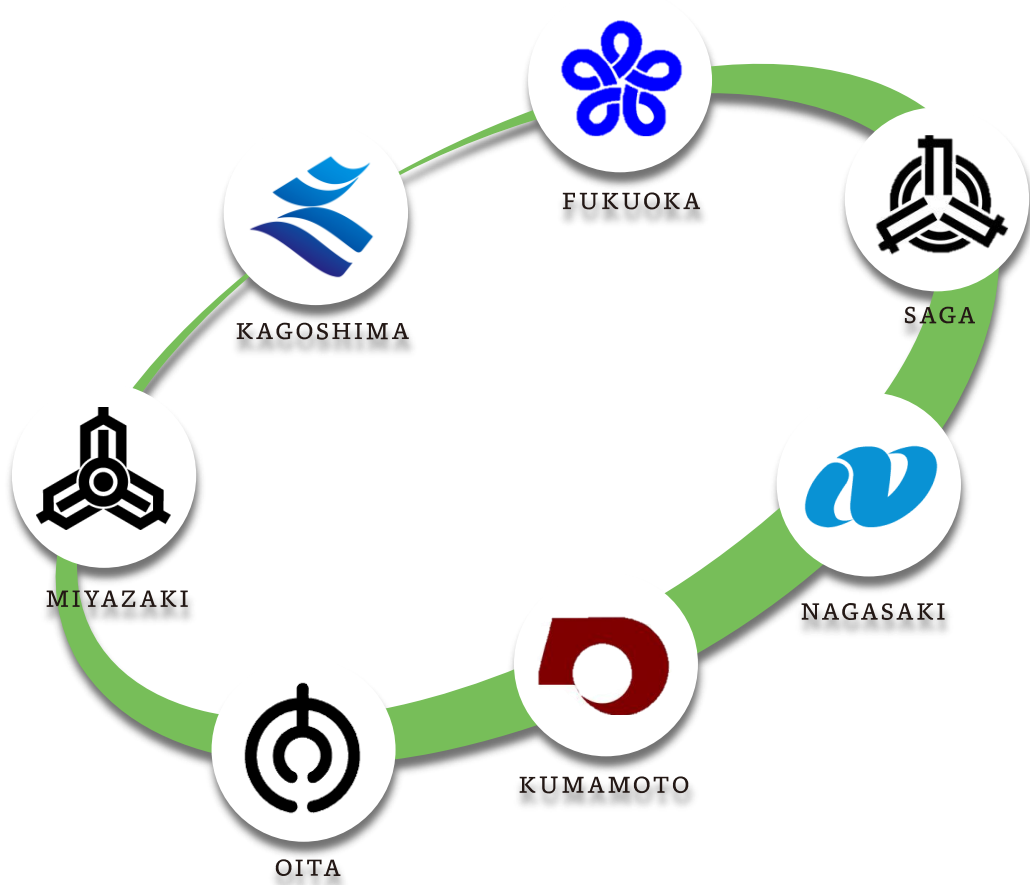
大分県



宮崎県



鹿児島県



九州の宝を世界へ ～Treasure Island・KYUSHU～ 運営計画

※11/5時点

出展期間工程表(案)

9/2 (火)	搬入	0:00～2:00	メッセ内に資材搬入開始
	一次側幹線工事	-	事務局指定業者にて実施
	ステージ設営	2:00～10:00	設営終了次第ステージ部分の設営音響・照明・映像チェック
	試飲・試食ブース 設営		試飲・試食エリア基礎部分設営、給排水システム構築まで
	展示ブース設営		福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県ブース と九州観光ブースの基礎部分設営
	ステージ テクニカルチェック	10:00～13:00	音響・照明・映像チェック各プログラムリハーサル
	試食・試飲ブース 提供リハーサル	10:00～14:00	ごみ分別指定の準備、最終準備提供リハーサル実施
	展示ブース 最終仕上げ		最終仕上げ 10:30～ 各県ご担当様チェック・調整
	展示ブース 運営リハーサル	14:00～16:00	各県職員様と運営スタッフによるチェックとリハーサル実施
	各県知事 ステージリハーサル	16:00～18:00	ステージにて各県知事登壇リハーサル
9/3 (水) ・ 9/4 (木) ・ 9/5 (金)	本番	10:00～20:00	「試食・試飲ブース」と「各県ブース」は10:00にオープンとする ※万博会場は9:00オープン ステージは別途協議のステージプログラムにて進行 来場者のブース最終入場は、19:45までとする ※要協議
9/6 (土)	撤去	10:00～16:00	各エリア一斉に撤去開始
	搬出	14:00～17:00	各エリアごとに順次搬出

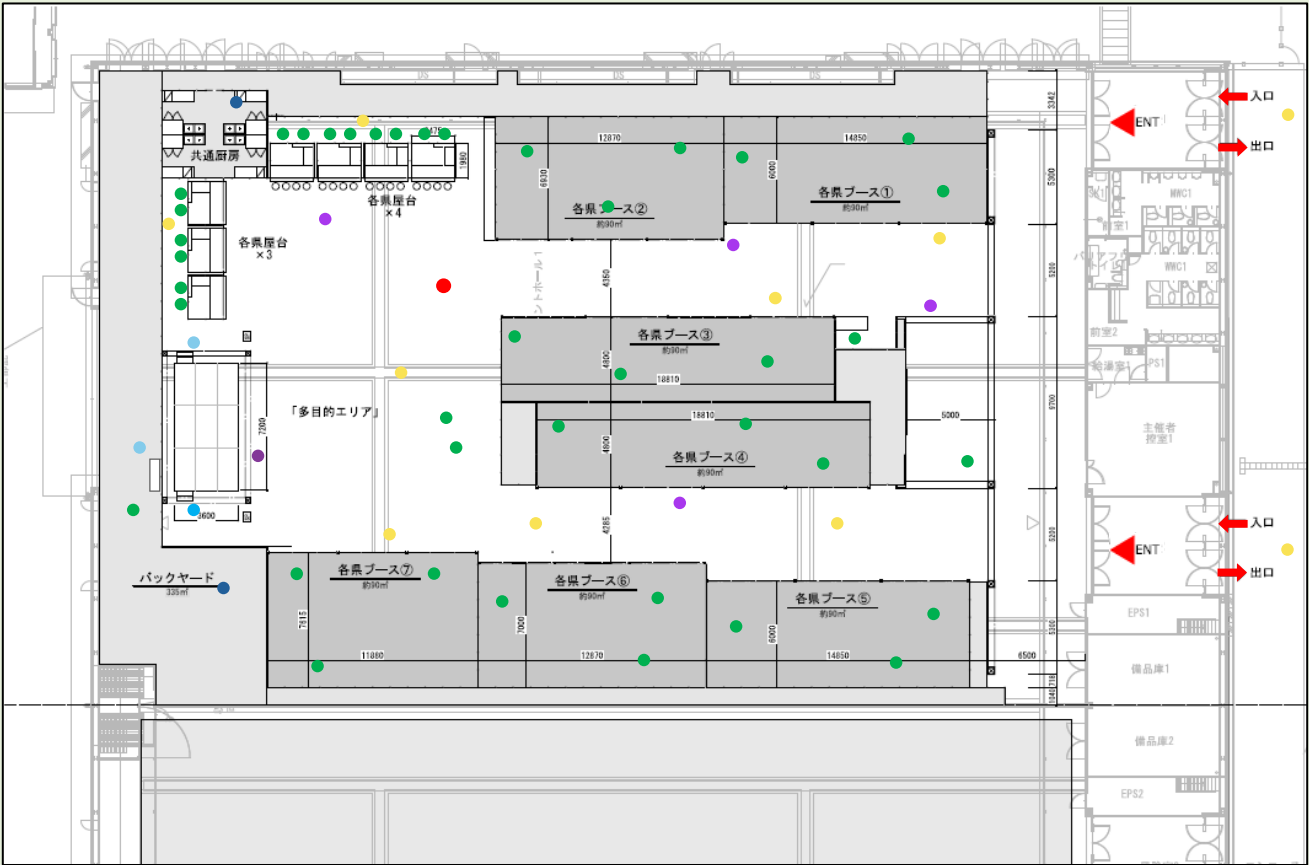
※上記工程については最終的に博覧会協会ならびに催事管理センターと連携し調整となります。

スタッフ配置計画

※警備・救護 詳細確認後反映

開場中は各県職員様のブース運営をサポートする運営スタッフを全県エリアに配置するとともに、インバウンド来場者対応通訳、混雑時の来場者整理等のポジションスタッフによる円滑な運営体制を構築します。

スタッフ配置イメージ

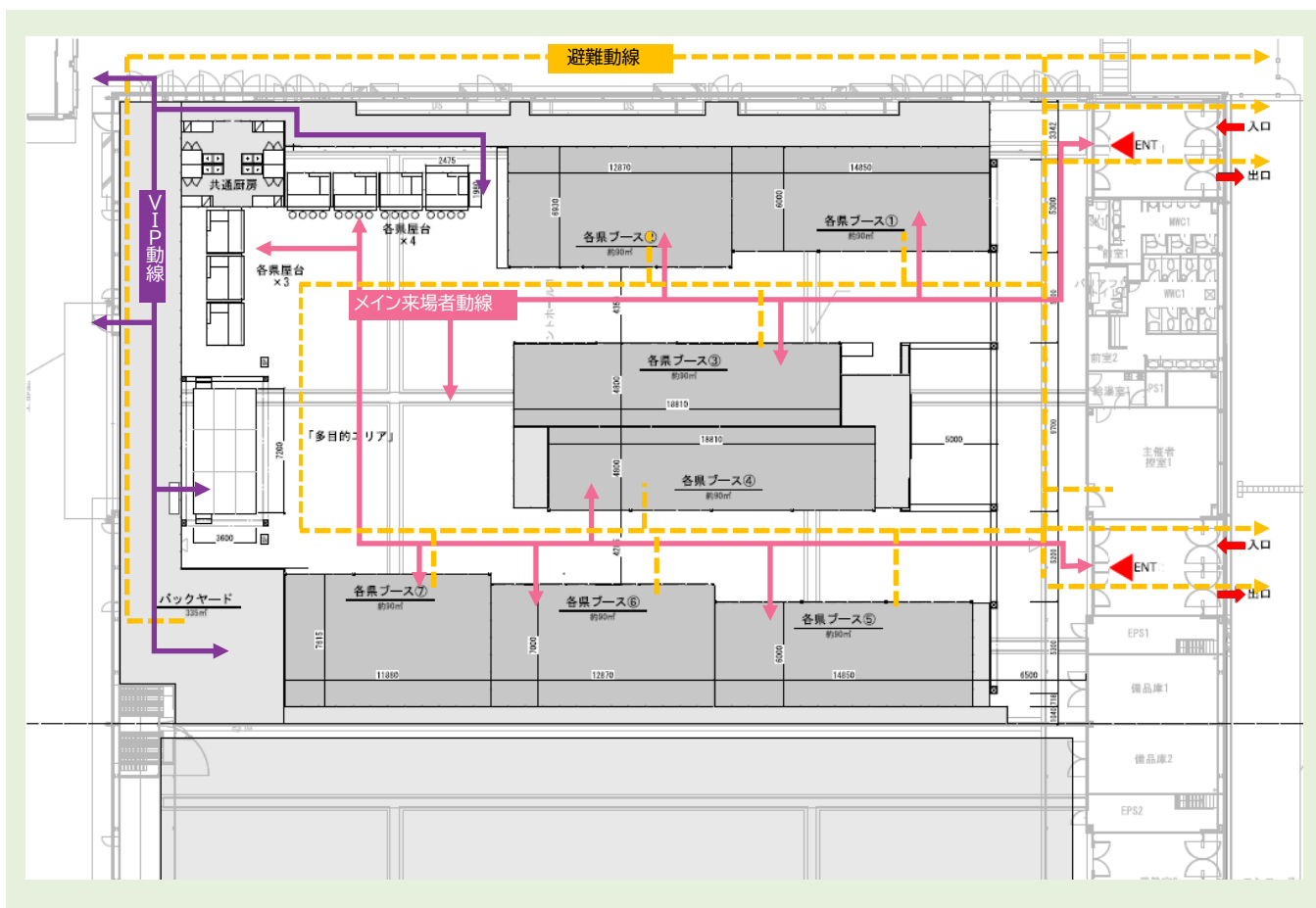


	役割	人数想定	基本業務内容
●	全体管理者	1P	スタッフ・展示・ステージの全体管理業務
●	各県職員様	40P	来場者へ各エリアの解説業務
●	運営スタッフ	10P	場外・場内の来場者の誘導・案内業務
●	通訳スタッフ	4P	語学:日・英(想定) インバウンド来場者への通訳業務
●	舞台監督	1名	ステージ進行管理・演出管理&アテンド
●	進行D	1名	ステージ進行、出演者管理
●	進行アシスタント	2名	進行Dのフォロー
●	庶務スタッフ	2P	運営庶務・進行庶務・飲食エリアサポート

動線・安全確保計画

出展期間中は来場者の快適なブース周遊を考慮した **A. メイン来場者動線**、災害発生時の **B. 避難動線**、VIP対応の際に使用する **C. VIP動線** を配置。
「安全確保レギュレーション」を設定、来場者・VIPおよび全スタッフの安全確保を第一にブース運営を実施。

各動線指定図



A. メイン来場者動線

メインとなる通路は、往来が十分に可能な通路幅4m以上を確保。

広い通路で安全性を確保しつつ来場者が自由に周遊できる設計とし、メッセ内全体回遊を促します。

B. 避難動線

災害時の避難動線となります。動線を一方通行に切り替え各ブースの運営スタッフが避難経路を案内、来場者をすみやかに屋外へ誘導します。

C. VIP動線

表動線(メイン来場者動線)を通過せず裏導線でバックヤードやステージ裏に移動いただくことで、一般来場者の目に触れることなく安全に会場内へ誘導します。

安全確保レギュレーション(案)

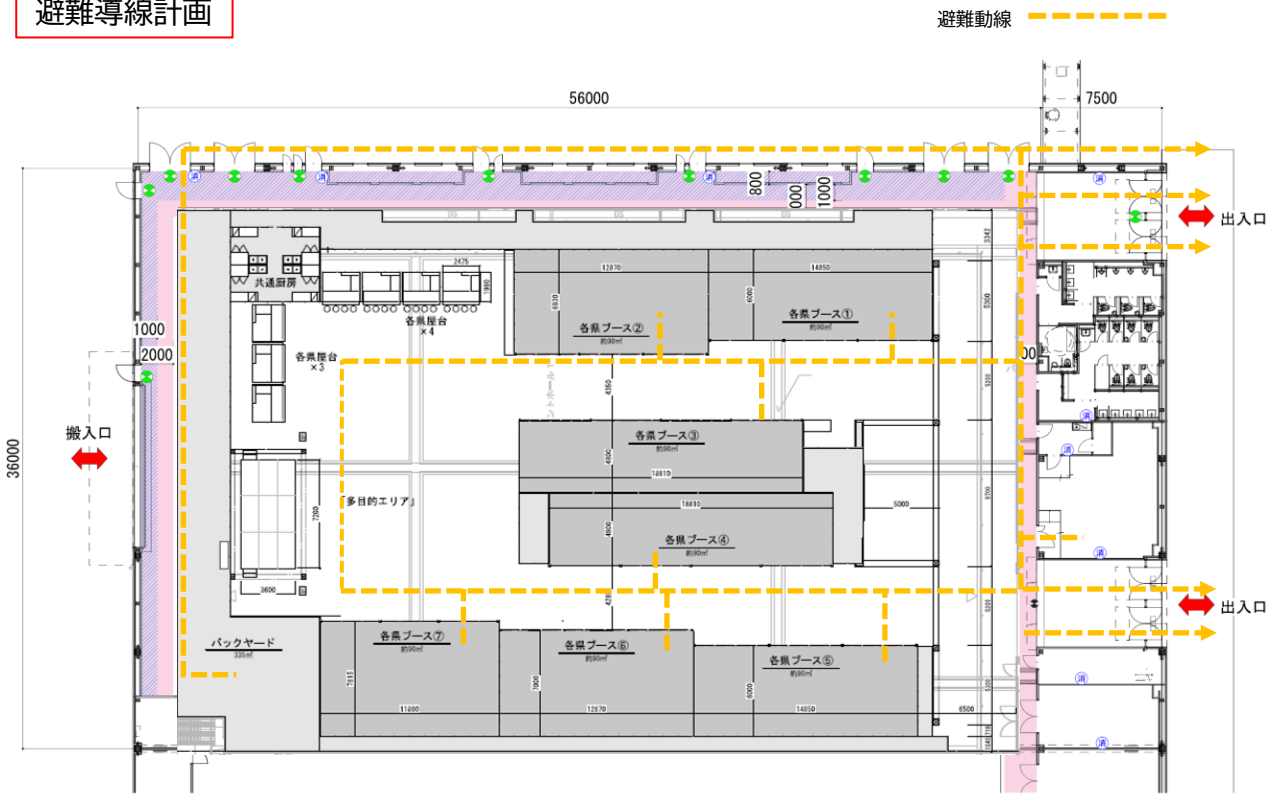
安全確保上の基本事項

- 火災、地震または爆破予告などの緊急時が発生した場合、決して慌てずに、会場管理責任者及び各責任者は防災センターの指示に従い、来場者をEXPOメッセ屋外へ誘導する。
- 豪雨や台風の際は、万博規定に則った安全対策を行う。
- 不審物を発見した場合は、該当箇所の立ち入り規制を行い現場を確保し、ただちに会場責任者へ連絡する。
- 救急対応は大阪万博内に設置される「救護施設」にお連れし対応する。
- 避難口は前方に2m以上を確保し、障害となる設備・物品を設置しない。
- 緊急時に備え、必ず通信機器(トランシーバー)等を携行し、各責任者と連携を行う。

避難誘導

- 避難誘導の際には、来場者の安全確保を最優先に、速やかな屋外への避難を誘導する。
- 会場アナウンスや拡声器等を使用し災害の発生を知らせ、迅速かつ確実な避難を呼びかける。
- 避難誘導は各エリアスタッフにて行う。前日設営日に誘導リハーサルを実施し、すべてのスタッフが緊急避難時の来場者誘導ポジションと避難導線を把握することを徹底する。
- 二次災害を防止するため、必要に応じて発生現場への立入を規制する。
- EXPOメッセ内の消火器・避難誘導灯の位置を把握する。

避難導線計画



EXPOメッセ利用ガイド 22)避難経路について
より抜粋

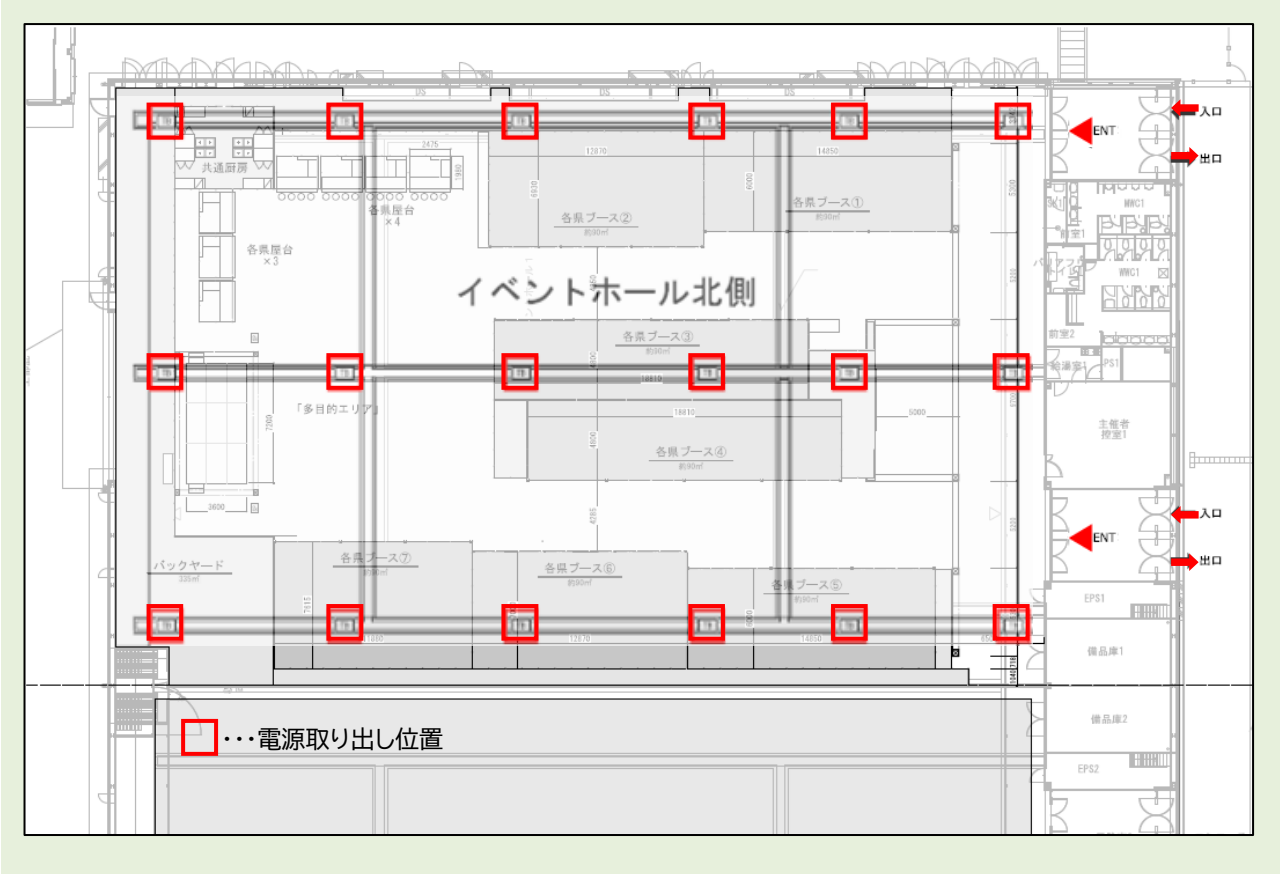
記号	名称	備考
●	避難口誘導灯	
●	消火器	
■	避難導線(来場者)	最低通路幅2m
■	バックヤード導線(非来場者)	最低通路幅1m

電源使用計画(案)

会期中の快適なブース運営・進行が行えるよう各ブースの電源位置・使用電力を事前に明確化。節電に考慮した計画を行います。

電源取り出し位置

使用電力容量 66円/kw



常設電源設備

展示用電源(イベントホール北側)	単相3線式:100/200V 300kVA 低圧電灯盤
展示用電源(イベントホール南側)	単相3線式:100/200V 300kVA 低圧電灯盤
展示用電源(イベントホール北側)	三相3線式:200V 150kVA 低圧動力盤
展示用電源(イベントホール南側)	三相3線式:200V 150kVA 低圧動力盤
展示用電源(イベントホール北側)	単相3線式:100/200V 300kVA 低圧電灯盤

電源使用についての注意事項

準備、運営を通じて持続可能性の実現を目指す大阪・関西万博では、発電機や電源車の持込みを禁止しています。

①電源の入り切り位置

分電盤室内の展示用電灯盤および展示用動力盤内に遮断器が設置してあります。

②接続端子台の位置

電気ピットに接続端子台が設置してあります。ピットには、メインピットとサブピットがあります。

メインピットには電気ピット、機械ピットがあります。電気ピットは「E」、機械ピットは「M」の文字で表示しています。

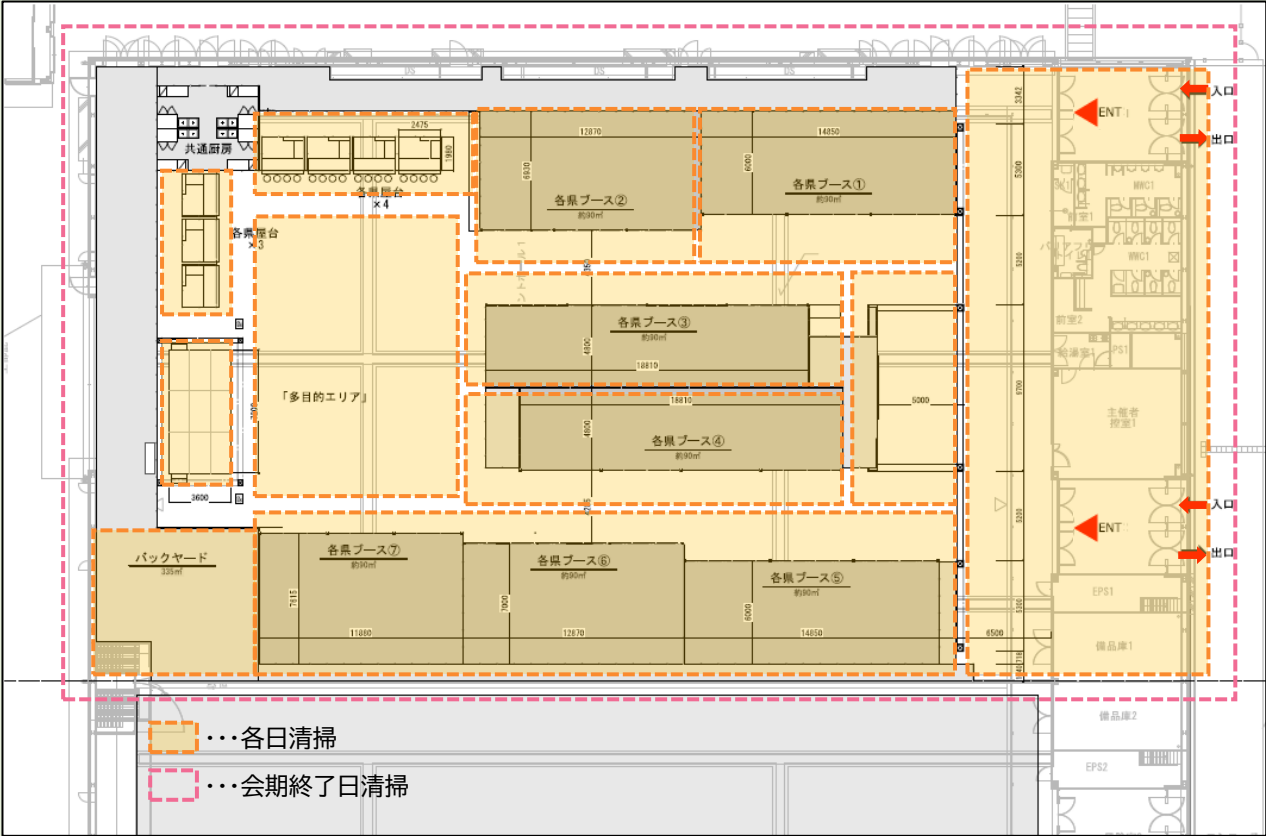
・電気ピット(単相3線式:100/200V・三相3線式:200V)

・機械ピット(給排水配管スペース)

■ 清掃計画(案)

メッセ原状復帰のため、撤去日にメッセ全体の清掃を行います。
また各日終了時間前に清掃時間を設け清掃管理を行い、会期中のブース衛生維持に努めます。

| 清掃区画イメージ



| 清掃内容イメージ

- 1. トイレの清掃
 - 2. 利用後の館内清掃
 - 3. 利用後のゴミ処理
- ※ゴミ区分に沿った分別を実施

※1は催事管理センター
2と3は出展者対応となります。

※飲食廃棄物については万博内で廃棄可能。

	参加者	来場者
1 飲み残し水	-	●
2 生ごみ	●	●
3 廃食用油	●	-
4 業務用缶	●	-
5 缶(アルミ缶・スチール缶)	●	●
6 びん	●	●
7 ペットボトル	●	●
8 ペットボトルキャップ	[●]	[●]
9 発泡スチロール・発泡トレイ	●	●
10 プラスチック類	●	●
11 [堆肥化可能な食器類]	[●]	-
12 段ボール	●	-
13 紙類	●	●
14 [紙おむつ]	-	[●]
15 汚泥(グリストラップ)	●	-
16 木製パレット	●	-
17 [割り箸]	[●]	-
18 燃やすごみ	●	●
19 燃やさないごみ	-	●
20 混合廃棄物	●	-
	14[17]区分	8[10]区分

■ 搬出入計画 (1)-関係者及びスタッフの入場

催事開催に伴い万博会場に入場する際には、**事前の申請により交付された許可証**が必要となります。
許可証には催事主催者が着用する「関係者入場証(AD証)」と、車両の入場に必要「車両出入駐車許可証」があります。



関係者東ゲート

利用可能時間は、大阪メトロ夢洲駅の始発～終電まで

関係者西ゲート

24時間利用可能 ※事前に会場周辺の通行規制を確認ください。

一般来場者ゲート(東)

7時～8時30分(予定)の時間帯は、一般来場者ゲートからも関係者が入場可能。
係者東ゲートの混雑状況により、こちらもご利用ください。

●催事主催者が使用するAD証は、「デイパス」のみとなります。



デイパス

会期中、1か月未満の短期の入場が必要な関係者向け入場証

●団体構成員がAD証登録サイトで入力する必要な情報

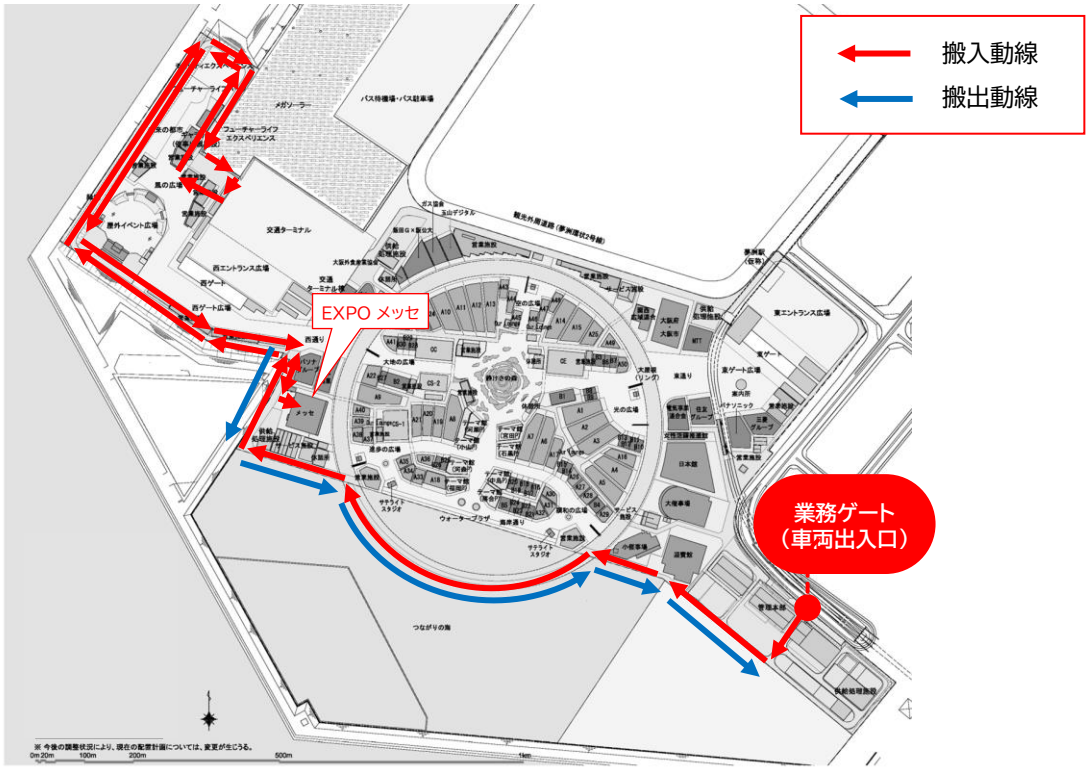
- ①ミドルネーム(ある場合) ②氏名 ③生年月日 ④国籍 ⑤住所 ⑥性別
- ⑦本人確認書類(パスポートor運転免許証orマイナンバーカード) ⑧本人確認書類の写し
- ⑨連絡先電話番号 ⑩ワクチン接種歴 ⑪受診時の伝達事項(任意) ※治療中の病気、服用中の薬、アレルギーの有無など

搬出入計画 (2)-車両搬入

催事関係資材の運搬や、催事主催者送迎のために、車両により万博会場へ入退場する際には、「車両出入駐車許可証」(事前申請制)が必要です。
申請には、車両番号、車種、燃料区分の登録が必要となります。
※別途、車両搭乗者(運転手含む)の「関係者入場証(AD証)」→前頁 も必要となります。

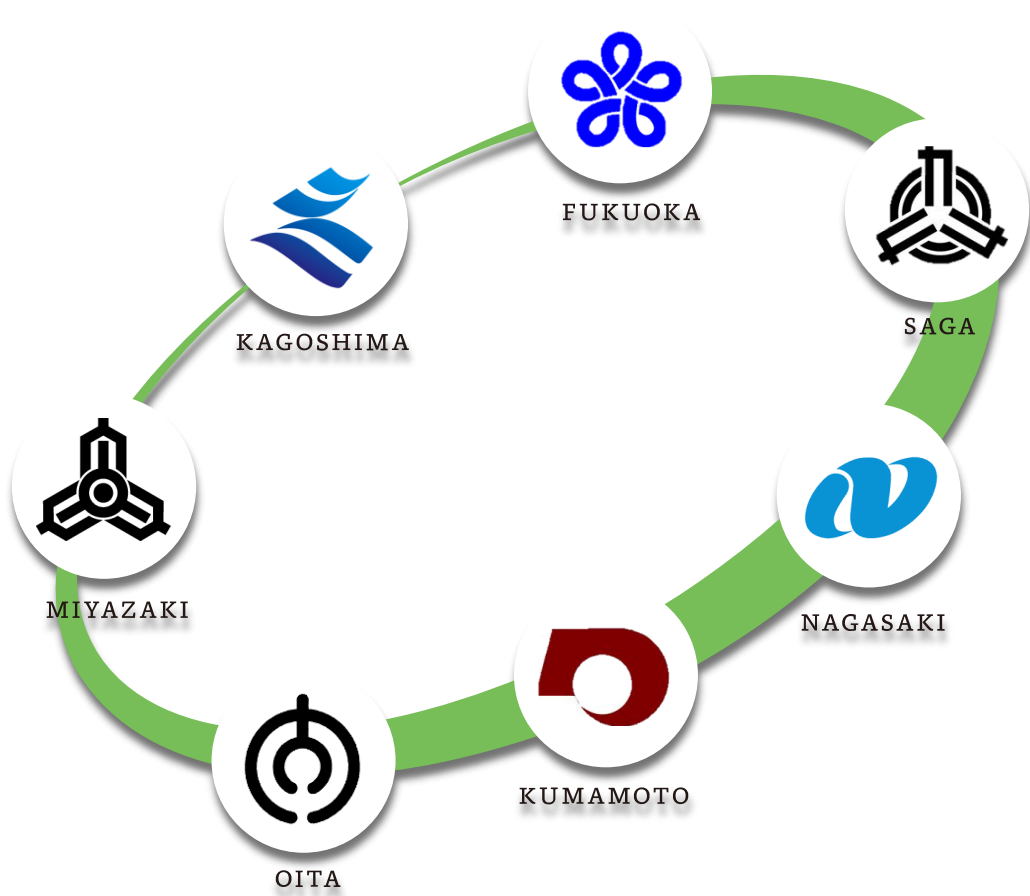
万博会場内のバックヤードエリアへの入退場の際には、下記の業務ゲート(車両出入口)を利用してください。
貨物車両の搬出入ルール等については、現在調整中です
※貨物の搬出入に伴う車両については、交通量が集中する8:00~10:00の入場ができません。

車両通行動線



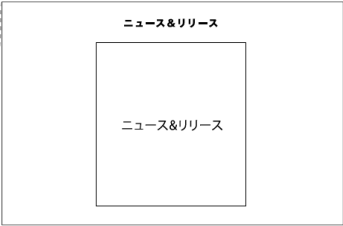
車両区分

会場内の車両区分		
車両区分	規格	主な例
万博定義トレーラー	牽引車と非牽引車(2車軸以上)で構成された牽引自動車 もしくは、大型車がけん引する牽引自動車	海上コンテナトレーラー
万博定義大型車	総重量7.5t以上、最大積載量4.0t以上、6.5t未満または全長7m以上の自動車 乗車店員30人以上の自動車	大型バス 10tトラック 4tトラック
万博定義小型車	総重量3.5t以上 7.5t未満、最大積載量2.0t以上 4.0t未満かつ全長7m未満の自動車 乗車定員11人以上29人以下の自動車	小型バス 3tトラック 2tトラック
万博定義普通車	他のいずれにも該当しない自動車	乗用車 ワンボックス
万博定義二輪車等	特定小型原動機付き自転車以外の自動二輪車および原動機付き自転車、電動カート	バイク 原付 電動カート
万博定義自転車等	特定小型原動機付き自転車、自転車	電動キックボード 自転車



九州の宝を世界へ ～Treasure Island・KYUSHU～ 広報計画

LPデザイン



※デザインはすべてイメージです

